

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校 岡山情報ビジネス学院	昭和61年7月26日	学院長 榊原 俊章	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人三友学園	昭和61年7月26日	理事長 野津 基弘	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	工業専門課程	Webデザイン学科	平成15年文部科学省告示 第14号				
学科の目的	時代に応じた技術を取り入れたWeb制作を行うことで自ら意欲的に学習に取り組む積極性を、チームでの制作を経験することでコミュニケーション能力や企画提案力を身に付ける。Web業界でクライアントの要望を的確に把握し表現できる人材を育成する。						
認定年月日	平成28年2月19日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1716時間	576時間	0時間	1140時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	45人	0人	2人	5人	7人		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～翌年3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価はA、B、C、Dの4段階科目終了時に試験、レポート等で評価			
長期休み	■夏季休業日:8月6日～8月26日 ■冬季休業日:12月24日～翌年2月17日 ■春季休業日:3月4日～3月24日		卒業・進級条件	次の項目を全て充たすこと ・必修29科目、総時間1716時間を履修すること ・出席率90%以上 ・科目の成績評価が全てC以上 ・色彩検定3級、サーティファイ Webクリエイター検定スタンダード、サーティファイ Photoshop検定スタンダードのうち1つに合格			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話連絡、保護者面談、家庭訪問等		課外活動	■課外活動の種類 新入生歓迎会、スポーツ大会、学園祭、東京研修  ■サークル活動: 有			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 就職先:ウェブクリエイティブ(株)、(株)ディービジョン、(株)THREE PIECE LAB、(株)World Wide Web、ホームアットラスト(株)(ホームアットラスト(株)、ビジネスセンター岡山(株)等 業界:Webデザイナー、コーディング業界  ■就職指導内容 担任教師とキャリアサポート室が連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。 ■卒業者数: 20人 ■就職希望者数: 20人 ■就職者数: 19人 ■就職率: 95% ■卒業者に占める就職者の割合: 95% ■その他  (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)			
				資格・検定名	種	受験者数	合格者数
				Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート	③	25人	22人
				Photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート	③	24人	14人
				文部科学省後援 色彩検定2級	③	22人	12人
				Webクリエイター検定	③	24人	19人
				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)			
				■自由記述欄			
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成29年4月1日時点において、在学者46名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者45名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更等		■中退率 2%				
	■中退防止・中退者支援のための取組 定期ガイダンスの実施、クラス行事・学校行事への参加、家庭との連携等						
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 ・OIC特別奨学金制度(本校入学者を対象に実施) ・後期授業料免除制度(本校入学後、所定の条件を満たす者を対象に実施) ■専門実践教育訓練給付: (有)無 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有)無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科のホームページURL	URL: <a href="http://www.oic-ok.ac.jp/course/medical.html">http://www.oic-ok.ac.jp/course/medical.html</a>						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

顧客のニーズを満足するWebサイトの制作ができる技術力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、ディレクション能力を備えた実践的なWebデザイナーを育成するため、最新のWebマーケティング手法やサイト設計方法・最新のデバイスの動向に知見のある方々に教育課程編成委員を依頼し、その実情と求められるスキル等について意見や提案をいただき、カリキュラムの追加や内容更新、教材作成・授業計画等に反映させる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

効果的なWebサイトを制作するために、コミュニケーションをとることができ、自ら学び、成長していける人材を育成するために、Web関連企業及び、岡山情報ビジネス学院関係者で構成された「教育課程編成委員会」を岡山情報ビジネス学院内に設置する。年間2回以上開催される委員会にて教育課程の編成に向けた意見・助言を受け、カリキュラム等の改善・工夫等を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
榊原 俊章	専門学校 岡山情報ビジネス学院 学院長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
高岡 信吾	専門学校 岡山情報ビジネス学院 常務理事	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
難波 芳子	専門学校 岡山情報ビジネス学院 教務第1課 課長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
福家 道代	専門学校 岡山情報ビジネス学院 Webデザイ学科 学科長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
久保田 浩二	特定非営利活動法人ITC岡山 理事長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
石橋 史恵	ウェブクリエイティブ株式会社 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
ムラカミ ヨシコ	アッパービレッジ有限公司	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

2回(例年の開催時期は、9月、1月)

(開催日時)

第1回 平成29年9月7日 16:00～17:30

第2回 平成30年1月25日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

Webサイトの構築等の専門分野に関する知識技術が十分あるのに対して、ビジネスアプリケーションの知識技術が(事務レベルのエクセル知識は最低限)必要であり、その知識が不足しているのではという意見をいただいた。Web系カリキュラムに特化しすぎている傾向があるので、2年次のカリキュラムには、一般的な社会人として求められる人的スキルを学ぶカリキュラムを取り入れることを検討している。また、グラフィックデザイン面に関する技術力を強化し、「デザインを学んだ」という自信を持たせられるようデザイン概論等、授業内容等の補強を図るような内容でのカリキュラム再編成を検討課題としている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

Web業界で即戦力となる人材を育成するため、近年あらゆる分野で活用されているWebサイト制作技法に関する実践的な授業内容の改善・工夫のため、Web業界で幅広い分野におけるWebサイト制作に携わっている企業を選定し、Webクリエイターとして実務に就かれている方から、Webサイト制作の開発に対する直接助言や協力が得られる体制をとる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

授業科目の担当教員と連携企業の講師が事前に授業内容と目的、段階的にスキルアップできる実習課題について打ち合わせを行い、スケジュールを作成する。前期は担当教員よりWordpressの教科書を使用し、基礎的な内容の講義を行い具体的な演習を行う。後期は連携企業の講師に月に一度来校いただき、講義と進捗の確認やチームで仕事を進めるうえでのアドバイス・指導・改善および最終評価をいただく。連携授業内容は、実存するWebサイトを題材としてサイトリニューアルをPCサイト制作チーム、スマホサイト制作チーム、レスポンスサイト制作チームに分かれ制作を行う。Webサイト制作の進め方、考え方、制作チックスなど実務従事者だからこわかることや仕事をするうえで心がけていること、Web業界で必要とされるのはどんな人か、新人として必要なスキルは何かということまで、人間力の向上を目指すと共に、業界での将来を考えていくうえで学生にとってプラスになる内容も話していただく。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
Webデザイン実習基礎	池田動物園からの依頼で、クリスマスアニマルパレードのキャンペーンページのリニューアル案の依頼をいただき、1年生が制作し、プレゼンテーションを実施。採用いただいたデザインは実際に公開された。	池田動物園

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

Web業界で即戦力となる人材を育成するため、近年あらゆる分野で活用されているWebサイト制作技法に関する実践的な授業内容の改善・工夫のため、Web業界で幅広い分野におけるWebサイト制作に携わっている企業を選定し、Webクリエイターとして実務に就かれています。Webサイト制作の開発に対する直接助言や協力が得られる体制をとる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

主に担任教員が、実習内容の詳細について連携企業と受入の確認と調整を行う。実習期間中は学科教員が各連携企業を訪問し、学生の状況を確認するとともに、実習担当者との情報交換を行う。実習終了後には、実習担当者による学生の学修成果の評価と実習日誌などをもとに、担任教員が総合的な成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
キャリア実習Ⅰ	実社会で、即戦力として活躍できる人材を育成することを目的に、1年次後期に企業で実習を行う。授業を通して学んできたことを、理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術力を身につける。実習内容は、基本的に受入企業様の指示に従い、担当者の方々との指導のもと、実習を行う。	株式会社リブゲート ウェブクリエイティブ株式会社 株式会社スイッチ アッパービレッジ株式会社 株式会社スクイズ研究所 等 全15社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と他関係者に対する研修内容の共有を行う。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

主催:岡山WEBクリエイターズ

日程:平成29年10月21日(土)

参加者:石井 正人

研修名:岡山WEBクリエイターズ

主催の岡山WEBクリエイターズは岡山県のWeb業界の企業や働かれている方々のセミナーで、本校では実習先や就職先として連携している。セミナーの内容は、Web業界の今後の未来や動向についての講演で、今後の業界の動向や問題点を修得することができた。知識や技術に触れることの楽しさややりがいを感じ、新しい知識や技術を身につけるのが目的のセミナーである。

②指導力の修得・向上のための研修等

主催:一般社団法人 全国専門学校教育研究会

日程:平成30年3月14日(水)～3月16日(金)

参加者:石井 正人

研修名:新任教員基礎研修

一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修は、新任教員に必要な知識やスキルを身につけ、教師の指導力のレベルアップ

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

主催:岡山WEBクリエイターズ

日程:未定

参加者:石井 正人 鈴置 勝信

研修名:岡山WEBクリエイターズ

主催の岡山WEBクリエイターズは岡山県のWeb業界の企業や働かれている方々のセミナーで、本校では実習先や就職先として連携している。セミナーの内容は、Web業界の今後の未来や動向についての講演で、今後の業界の動向や問題点を修得することができた。知識や技術に触れることの楽しさややりがいを感じ、新しい知識や技術を身につけるのが目的のセミナーである。

②指導力の修得・向上のための研修等

主催:一般社団法人 全国専門学校教育研究会

日程:平成31年2月20日(木)～2月21日(金)

参加者:石井 正人 鈴置 勝信

研修名:アドラー心理学に基づく学生指導とクラス運営

一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修は、アドラー心理学に基づく学生の指導、およびクラス運営のやり方について、教師の指導力のレベルアップを目的とする。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の順守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	現在はありません

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

担任制、卒業生の社内での評価などは、良い評価をいただいたので、今後も退学防止などの課題に取り組んでいく。特に、教師の力量による差が、退学、就職などすべてに影響するため、その差を解消できるように教員研修を継続する。また、非常勤教師の採用も行い、学生サービスの充実を図る。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
宮崎 栄一	株式会社 創明コンサルティング・ブレイン 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
仲田 錠二	株式会社ユナイテッドサーブ 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	卒業生・企業等委員
松本 武司	有限会社シルク 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	PTA
河原 秀明	医療法人創和会 しげい病院 地域連携部 地域連携入退院支援・医療社会福祉課 課長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
近藤 正晃	株式会社 ホテルグランヴィア岡山 総務部総務人事課 課長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
岡崎 多美子	学校法人 朝日学園 朝日塾幼稚園園長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
磯谷 賢二	リコージャパン株式会社 中国事業本部岡山支社 アシスタントマネージャー	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	卒業生・企業等委員
片山 雅文	株式会社 コーセイカン 制作チーム部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
石橋 史恵	ウェブクリエイティブ株式会社 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
高松 聖	株式会社 スカイリンク 岡山制作部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
中國 薫	岡山県商工会議所連合会 おかやま若者就職支援センター 所長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( )

URL:<http://www.oic-ok.ac.jp/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対応を行い、説明責任を果たす。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	OICの教育方針、心の推進プロジェクト、プライバシーポリシー(個人情報保護法)
(2)各学科等の教育	目指す業界・職種、目指す資格と資格取得実績、就職実績、カリキュラム
(3)教職員	教職員数、教員の組織、教員の専門性、教職員の研修
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取り組み支援、企業等との連携による取組・キャリア教育への取組
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介、学校行事、課外活動
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況(スクールカウンセラー)
(7)学生納付金・修学支援	学納金、独自の奨学金制度・学費支援制度
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	学校評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.oic-ok.ac.jp>

## 授業科目等の概要

(工業専門課程 Webデザイン学科) 平成30年度 1年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ビジネス実務 I	就職活動や社会人になるうえで必要になるマナー、一般常識の習得（就職対策含む）	1 通	60	4	○			○		○		
○			ペン字	硬筆検定3級合格レベルの演習、手書き用履歴書作成のため。	1 後	15	1	△			○		○		
○			Illustrator 演習	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得。（Illustrator検定）	1 前	90	2	△			○		○		
○			Photoshop 演習	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得。（Photoshop検定）	1 前	90	2	△			○		○		
○			色彩概論 I	デザインにおける色彩の知識を学び、演習を行う。（色彩検定3級）	1 前	60	4	○			○		○		
○			色彩概論 II	色彩概論 I をベースにして、更に上級の演習を行う。（色彩検定2級）	1 後	60	4	○			○		○		
○			カメラ実習	写真の撮影から加工の技術・知識を習得。Webサイトにおける商品写真の撮り方など。	1 後	30	1	△			○		○		○
○			インターネット基礎	インターネットの必須常識、Web全般の知識の習得。（CG検定：Webデザイナー・マルチメディアベーシック）	1 前	60	4	○			○		○		
○			インターネット応用	インターネットの必須常識、Web全般の知識の習得。（CG検定：Webデザイナー・マルチメディアエキスパート）	1 後	30	2	○			○		○		
合計								単位時間( 時間)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(工業専門課程 Webデザイン学科) 平成30年度 1年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			HTMLCSS実習	マークアップの基本を習得。(Webクリエイター能力認定試験：ベーシック、エキスパート)	1 通	75	2	△		○	○		○		
○			Webアクセシビリティ	Webアクセシビリティの基本的な考え方を学び機械も人間もアクセシブルなサイトを制作するための知識を習得する。	1 通	60	4	○			○			○	○
○			Webデザイン実習基礎	Webデザイン制作の基礎を学びお客様の想いをカタチにできるよう学習していく。	1 通	90	3	△		○	○		○		
○			Javascript&jQuery実習	Webの仕組みを学び、Webプログラムの基礎を習得。(Javascript、jQuery)	1 後	60	2			○	○		○	△	
○			グラフィックデザインI	地図、サイン、グラフなど、さまざまな媒体のデザインを学ぶ。	1 後	30	1	△		○	○		○		
○			キャリア実習	就職活動を控え、実社会での経験を積むことで就業イメージの形成を図る。また、学習内容の実践的活用を行う。	1 後	80	2			○	○		○		
合計					15科目	単位時間( 890 時間)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(工業専門課程 Webデザイン学科) 平成30年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			モバイルコンテンツ制作	Webデザイナーとして知っておくべきコンテンツ制作を学ぶ。レスポンス対応等応用技術も習得 (jQuery/PHP)	2前	90	3	△	○	○	○				
○			親学	親としてすべきことを学び、さらに人としての成長を目指し、人間力を高めるライフデザインを学ぶ。	2前	26	1	○			○	○			
○			ビジネスアプリケーション	企業で利用されているビジネスアプリケーション、Excelの知識・技能を習得する。	2前	38	1	△	○	○	○				
○			Webディレクション	Webサイトを制作する際に、制作スタッフをまとめプロジェクト全体の進行管理・品質管理をするための技法を学ぶ。	2後	30	2	○			○	○			
○			Webライティング	コンテンツの軸である「文章」に焦点を当て、ユーザーの目の引くライティングスキルを習得する。	2後	30	2	○		△	○	○			
○			モーショングラフィックスⅡ	デジタルサイネージ広告制作を目指し、Webデザインの制作で学んだことを基礎に、動画としての新たな表現やコミュニケーションのあり方について学ぶ。	2前	60	2			○	○	○			
○			Webデザイン実習応用	UI設計からビジュアルデザイン、構築までを行う実制作を繰り返し、総合的なサイト制作の力を身に付ける。	2通	120	4			○	○	○			
○			ビジネス実務Ⅱ	社会人としてすぐに働くことを想定したマナー・考え方・一般常識	2通	86	4	○			○	○			
○			Webマーケティング	ランディングページの作成。また、マーケティング手法の基本知識を学びSEOの基本を習得する。	2後	30	2			○	○	○			
合計					単位時間( 時間)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。



授業科目等の概要

(工業専門課程 Webデザイン学科) 平成30年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			企画プレゼンテーション	グループワーク形式で全員で一つの紙面制作を行い、グループワークの難しさやスケジュール管理の方法を学ぶ。	2前	30	2	○		△	○		○		
○			グラフィックデザインⅡ	Web制作の現場において必要とされるデザインスキルをランディングページ制作を通して習得する。	2前	38	1				○	○		○	
○			情報デザイン	Web業界の流行や技術を調査し、見つけ出した問題を個人研究に落とし込んで作品制作を行い、発表する。	2前	38	2	○		△	○			○	
○			卒業研究Ⅰ	情報デザインで扱ったテーマを生かし、個人～グループで新たにプロジェクトを立ち上げて研究、制作を深める。	2後	90	3	△			○	○		○	
○			卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅰで制作したものを掘り下げ、最終成果物としての昇華を目指す。また、併せて外部への発表も行い、研究を通じて社会へ働きかける。	2後	120	4	△			○	○		○	
合計				14科目	単位時間( 826 時間)										
				総科目 29科目	総単位時間( 1716 時間)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
次の項目を全て満たすこと ・必修29科目、総時間1716時間を履修すること ・出席率90%以上 科目の成績評価が全てC以上 ・色彩検定3級、サーティファイ Webクリエイター検定スタンダード、サーティファイ Photoshop検定スタンダードのうち1つに合格								1学年の学期区分		2期					
								1学期の授業期間		15週					

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。